

The Greenpeace logo is displayed in a bold, white, sans-serif font. It is positioned in the upper right quadrant of the slide. The background is a solid green color with several thin, white, curved lines that sweep across the middle of the slide, creating a sense of movement and energy.

GREENPEACE

インドネシアにおける日本融資の石炭火力発電所- 現地からの報告

Arif Fiyanto

Greenpeace Southeast Asia -Indonesia

International Symposium on Coal

Tokyo, 29 May 2015





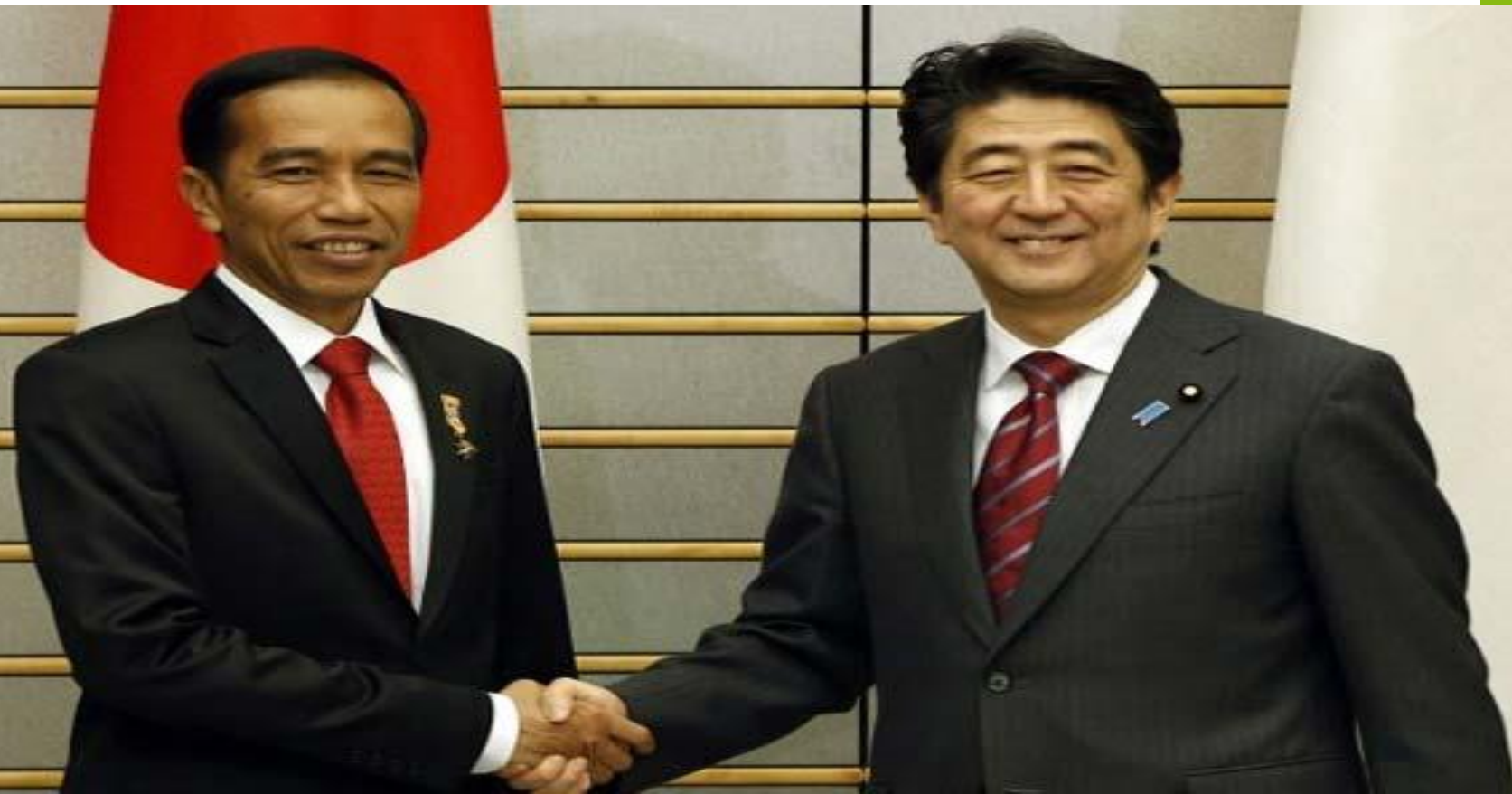


FOOD
NOT
COAL!



日本とインドネシアのクリーンでない取引

インドネシアでは、日本企業がインドネシア国営電力公社(PLN)と協力し、超々臨界圧と呼ばれる技術を採用した石炭火力発電所を建設しようとしている。PLNは、三菱、三井、横河、清水、電源開発、伊藤忠などの大手がリードする日本の30企業のグループとともに、スマトラ、スラウェシ、ジャワ、カリマンタン島において、2019年の完成を目処とした幾つもの石炭火力発電所の建設を来年開始する計画である。



インドネシアにおいて、 日本が融資する石炭火力発電所

日本が関連する既存の石炭火力発電所、および、石炭火力発電所計画：

- タンジュン・ジャティB石炭火力、および、拡張計画（中ジャワ州 ジェパラ県）
- パイトン石炭火力、および、拡張計画（東ジャワ州 プロボリンゴ県）
- チレボン石炭火力、および、拡張計画（西ジャワ州チレボン県）
- バタン石炭火力（中ジャワ州バタン県）
- 日本はその他にも、スマトラ、スラウェシ、カリマンタン島（ボルネオ島のインドネシア領部分）において、多くの石炭火力発電所建設への融資に関心を示している。

インドネシアにおいて、 日本が融資する石炭関連事業

- JICAは、スマトラ島の産炭地火力発電所からジャワ島の都市中心部に電気を送電するスマトラ・ジャワ島間の送電網連結事業に対する融資に関心を示している。
- インドネシア経済担当調整大臣によれば、JBICは、過去5年間、インドネシアの石炭火力発電所に対する重要な融資を行ってきた。

日本の石炭関連事業への融資は、インドネシアの持続可能な発展に寄与しているか？

- NO。寄与していない。
- インドネシアの温室効果ガス排出量を増加させる
- 事業地のコミュニティー内に社会不和を生み出す
- 漁民の生計手段を破壊する
- 農民の生計手段を破壊する
- 大気汚染源となる
- コミュニティーの健康に影響を及ぼす
- 人権侵害を引き起こす

インドネシアにおいて日本が融資する 石炭火力発電事業の現実

チレボン石炭火力発電所



日本が融資した チレボン石炭火力発電所の現実

実態：

- 日本は同事業の建設に 気候変動対策基金を利用

日本は、気候資金（つまり、温暖化対策のために先進国が貧困国に供与する資金）と銘打った10億ドル近くの融資支援をインドネシアの3つの石炭火力発電所に投じたが、チレボンはその一つである。

- 生計手段の喪失

チレボン石炭火力発電所の建設が始まった2008年初頭、同事業による影響はすぐに顕わになった。魚類は激減し、その地域産出の特有の小エビは海洋から姿を消した。その小エビの消滅は、漁民の生計手段の喪失を意味した。

- 脅迫と汚職

企業は、多くの地域住民に嫌がらせをしたり、脅したりして、不条理な安い価格で土地売却を強要した。住民が土地売却を拒んだ場合でも、腐敗した官僚ら（石炭産業からの賄賂をポケットマネーに入れている）は、事業者が住民の土地を収奪したり、公有地に侵入したり、貴重な水源の流れを変えたとしても、看過するのである。

日本が融資した タンジュン・ジャティB(ジェパラ)石炭火力発電所の現実

FACE



日本が融資したタンジュン・ジャティB (ジェパラ)石炭火力発電所の現実

- **健康への影響**

最も近い病院と公立のヘルス・センターのデータによれば、ジェパラ石炭火力発電所の操業後、呼吸器関連疾患の明らかな増加が見られる。

- **農業への影響**

2012年、煙突からの排煙のため、同石炭火力発電所の近くの村で酸性雨が発生。酸性雨は約50ヘクタールの農地に影響を及ぼし、コミュニティは収穫できずに終わった。今日まで、コミュニティは、石炭火力発電所の操業後、農地の生産性が劇的に落ちたと証言している。

- **漁業・海洋への影響**

ジェパラ県の海洋で長く伝統的漁業を営んできた漁民らが、生計手段を失った。その理由は、石炭火力発電所からの汚染水だけではない。石炭船が彼らの漁場を往来するため、漁業が非常に困難になったことも理由である。

日本が融資予定の バタン石炭火力発電所の現実

- 建設された場合、年間1,080万トンの二酸化炭素を排出
- 年間約226キログラムの水銀を排出
- また、年間16,200トンのSOx、20,200トンのNOx、610トンのPM 2.5を排出
- 同事業（推進）のために、海洋保護地域に関する規定と矛盾する規定を策定したバタン県に対する訴訟
- 何千人もの住民が、同発電所が環境に悪影響を及ぼし、彼らの生計手段を脅かすと主張し、数十回にわたる抗議活動

イバネシア石炭火力建設反対!

 **国際協力銀行**
JBIC JAPAN BANK FOR INTERNATIONAL COOPERATION

国際協力機構
Japan International Cooperation Agency

まとめ

- 日本企業・銀行は、インドネシアの石炭関連事業を促進している。
- インドネシアは、すでに世界最大の石炭輸出国であるが、日本が関与することで、そのインドネシアを低炭素開発の方向に手引きするのではなく、より石炭集中の方向を強化している。
- 日本は、石炭から再生可能エネルギーへの投融資にシフトすべきである。



COAL KILLS
GREENPEACE

BATUBARA
MEMATIKAN

COAL KILLS

BATUBARA
MEMATIKAN

COAL KILLS

GREENPEACE

GREENPEACE